

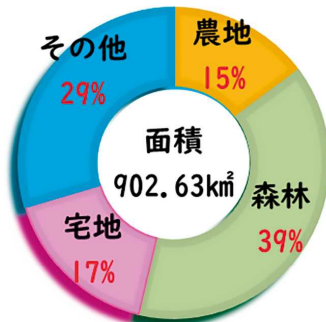
特集 奈良県のすがた

四季折々の 自然豊かな風土

奈良県は、日本のほぼ中央部・紀伊半島の真ん中に位置し、
周辺を山岳に囲まれた内陸県です。面積は3,690.94km²で、
全国的には40番目にあたり、国土の約1%です。

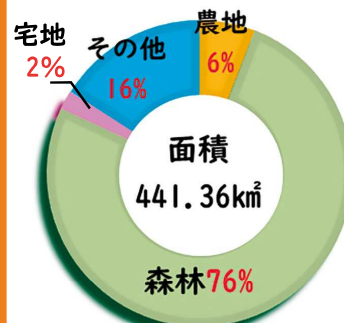
大和平野地域

- ・面積は県全体の約24%
- ・「大和青垣」と呼ばれる美しい山並みに囲まれる



大和高原地域

- ・面積は県全体の約12%
- ・なだらかな高原状の地形
- ・準平野地域と山間地帯があり自然豊かな

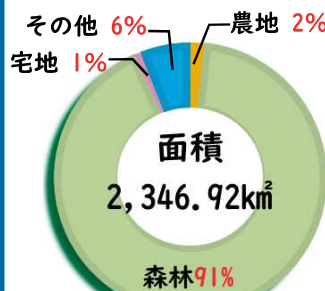


藤原宮跡のコスモス(秋) ①

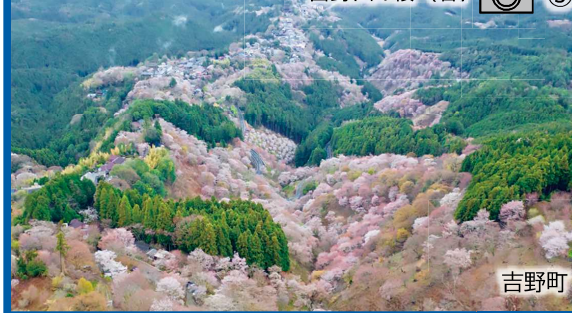


五條・吉野地域

- ・面積は県全体の約64%
- ・南部山間部は吉野・熊野の雄大な山岳地帯による恵まれた自然環境



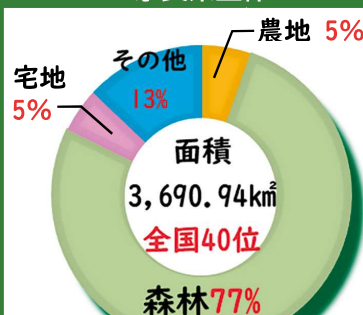
吉野山の桜(春) ③



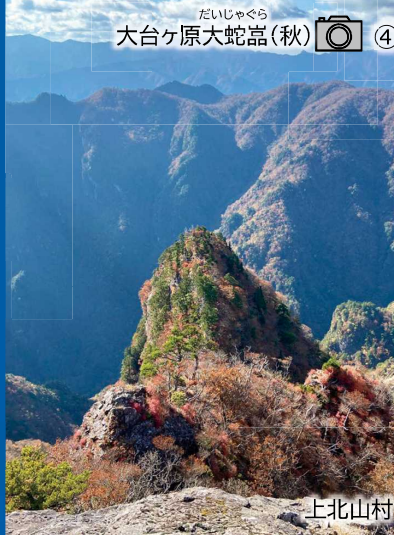
曾爾高原(夏) ②



奈良県全体



大台ヶ原大蛇峠(秋) ④



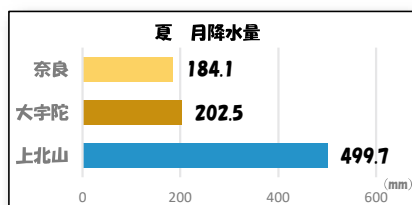
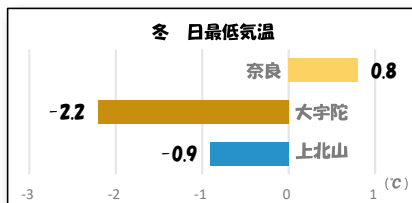
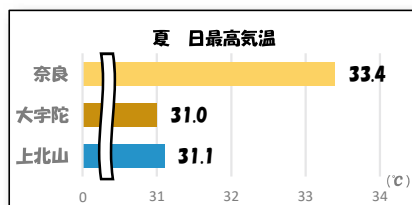
明神平の樹氷(冬) ⑤



※その他には、原野、道路（一般道路・農道・林道）、水面・河川・水路等が含まれる。
出典：国土地理院ウェブサイト <https://maps.gsi.go.jp/vector/> をもとに奈良県作成
奈良県国土利用計画、令和3年土地利用現況把握調査

地域で異なる『奈良県』の気候

本県の気候は概ね温暖ですが、紀の川を境として、南部は山岳で占められ山岳性気候、北部は盆地で内陸性気候です。東部山地は内陸性気候と山岳性気候の特徴を兼ねています。



〔北部〕内陸性気候

- 概ね雨は少なめ
- 夏：蒸し暑い
- 冬：底冷えが厳しい

〔東部〕内陸性気候 かつ山岳性気候

- 気温の日較差が大きい
- 大和高原では特に冬は厳しい寒さ

〔南部〕山岳性気候

- 夏：雨が極めて多く、時には局地豪雨が起る
- 冬：厳しい冬山の様相を呈し、積雪も深い

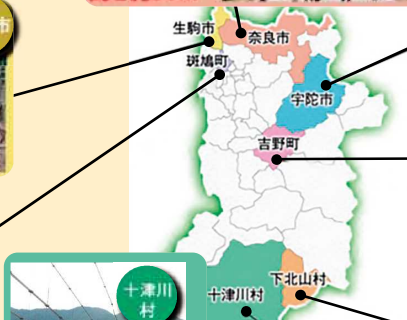
『奈良県』の人口

▶ 1,305,981人(R4.10.1現在)

前年に比べ9,369人(0.71%)の減少 ↓

市町村別に見ると、最多は奈良市の351,711人、最少は野迫川村の346人です。直近5年間(H28.10.1～R3.9.30)で人口が増加した市町村は王寺町(832人増)、広陵町(373人増)、葛城市(360人増)、斑鳩町(294人増)の4市町で、減少したのは35市町村でした。

コラム 現存する県内の建造物「奈良県の日本一」ってどんなだろう



写真提供: J-POWER [電源開発(株)]